

年

 組

 番

 名前

〈この学習を通して身に付けたい読む能力〉

- ・ 文章全体と部分との関係、描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる能力。
- ・ 物語の構成や展開、描写や比喩などの表現について根拠を明確にして自分の考えをまとめる能力。
- ・ 物語に表れているものの見方や考え方について知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめる能力。

〈学習の流れ〉

- 1 物語を読み、話の流れを確認しよう。
- 2 登場人物の人物像と心情を捉えよう。
- 3 学習課題に取り組み、走れメロスの作品世界を捉えよう。
- 4 作品の紹介カードを作ろう。

(* 1、2は教材 4-1(2)を参照)

① (学習の流れ 3) に関する学習課題 (本文の描写や表現に着目し、根拠を明確にして自分の考えをまとめよう)

① 【人物像について】メロスとディオニスの共通点は何だろう。本文を読み返して書いてみよう。

- ・ 全く違う考え方や行動で共通点は見当たらない。
- ・ 二年前の町の様子や王の言葉からかつてはよき王だったことが想像できる。メロスと同じように人を信頼する人間だった。
- ・ メロスは、身体疲労によって走れなくなった時、王と全く同じ考えをもつようになった。
- ・ メロスは再び走り始めることができ、王も再び昔の自分を取り戻すことができた。悪い夢から覚めた。

② 【話の展開について】メロスの行く手をはばんだ困難や誘惑を書いてみよう。(メロスにとって最大のピンチは?)

- ・ 濁流
- ・ 山賊
- ・ 疲労 (最大のピンチ)
- ・ 未練の情
- ・ フィロストラトスの言葉

③【情景描写について】次の情景描写（自然描写）からどんなことがわかるだろう。メロスの気持ちや話の展開を確認しながら読んでみよう。

1 「初夏、満天の星である」

（例）王に信じることの大切さを証明してみせるといふメロスの強い決意が表れている。

2 「黒雲が空を覆い、ぼつりぼつり雨が振りだし、やがて車軸を流すような大雨となった」

（例）これからメロスに降りかかる困難を暗示する伏線になっている。

3 「塔楼は、夕日を受けてきらきら光っている」

（例）立ち直って、希望がよみがえったメロスの気持ち。

登場人物の心情と密接に関連している情景描写や比喩表現に着目しながら読むことが大切だよ。他の作品を読むときにも意識してみよう。

④【人物の行動について】「私は、何だか、もっと恐ろしく大きいもののために走っているのだ。」とメロスは言っていますが「もっと恐ろしく大きいもの」とは何だと思えますか。

（例）メロス自身にもはっきりわからない、今までのメロスの自覚を超えた大きな本当の信実の力。

学習課題によっては、文章全体の内容や表現や、今までの学習内容を踏まえて、根拠を明確にしなが考える必要があるよ。



②

(学習の流れ4) (作品の魅力を確かめながら、印象に残るフレーズを見つけ、作品紹介カードを作ろう。)

① 印象に残るフレーズ(本文の短い部分)を見つけよう。選んだ理由も書いてみよう。

(例) 急げ、メロス。愛と誠の力を今こそ知らせてやるがよい。

(理由) メロスが再び走り出した力強さが伝わってくる部分だから。

② 印象に残るフレーズにつながる、短い作品紹介(キャッチコピー)を書こう。

(例) 人間不信の暴君に、親友を人質に差し出し、処刑までに三日の日限を与えられたメロス。

約束の刻限は、刻一刻と迫り来る。友の信頼に報いるために、正義の士として死ぬために、メロスは走る。幾多の困難に立ち向かい、己の心と闘いながら。

紹介カード(下書き)

急げ、メロス。

愛と誠の力を今こそ知らせてやるがよい。

人間不信の暴君に、親友を人質に差し出し、処刑までに三日の日限を与えられたメロス。

約束の刻限は、刻一刻と迫り来る。友の信頼に報いるために、正義の士として死ぬために、メロスは走る。幾多の困難に立ち向かい、己の心と闘いながら…。

走れメロス 太宰 治

実際には色や使ったり、イラストを入れたりして完成させよう。そして、カードを使って、グループで交流してみよう。印象に残るフレーズの根拠をしっかりと説明しながら、作品や登場人物に対する思いや考えも話せるようにしよう。交流することで同じ作品の読んでいても、人によって様々な視点や考えがあることに気がつき、自分の作品に対するものの見方や考え方を広げることが出来るよ。

①

